

明治安田生命 2019年度入社式 社長挨拶（要旨）

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、新入職員を迎え、入社式を行いました。以下のとおり、社長挨拶の要旨をお知らせします。

1. 明治安田生命とはどのような会社なのか

- 当社は125年にわたってお客さまの安心を守ってきた旧明治生命と旧安田生命が2004年1月に合併して誕生した、日本で最も「歴史と伝統」があり、21世紀生まれの「若々しい」生命保険会社である。
- 本日中には新元号が公表され、5月から新しい時代を迎えるが、この「平成」の時代には、当社の歴史のなかで最大の危機といえる2005年の「不適切な保険金不払い」に基づく二度にわたる行政処分があった。また、2011年3月には未曾有の大災害である東日本大震災があった。
- 「不適切な保険金不払い」については、すべての役職員が誇りと自信を失い、深い悲しみと苦しみを抱えるなか、全役職員が結集して、ガバナンスの強化や支払管理態勢を中心とした基幹機能の強化など、大胆な構造改革を行なうとともに、「個人営業改革」や「事務サービス改革」などの取組みを進めてきた。東日本大震災では、当社はお客さまを地道に訪問することで、安否確認や保険金支払いを迅速に行なうことができ、アドバイザーチャネルによる「対面のアフターフォロー」の価値を発揮した。
- 「お客さま満足度調査」結果は2017年度に過去最高値を記録し、2018年度も60%以上の高い水準を維持。これまでの絶え間ない改革が着実に実を結んでいるものと考えている。
- さらに、当社は地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。とりわけ「Jリーグ」については、2015年シーズンから「Jリーグタイトルパートナー契約」を締結するとともに、全支社等がJリーグ所属の全クラブ等と個別にスポンサー契約を締結している。昨年12月には「Jリーグタイトルパートナー契約」を2022年シーズンまで更新し、今後も「全員がサポーター」を合言葉に、全社一丸となってJリーグを応援していく。

2. 明治安田生命は今後何をめざしていくのか

- 経営環境の変化に的確に対応し、今後も勝ち残り続けていくために、2017年4月に新たな企業理念「明治安田フィロソフィー」を制定した。当社の存在意義や使命を示す「経営理念」は「確かな安心を、いつまでも」、当社が長期的にめざす「企業ビジョン」は「信頼を得て選ばれ続ける、人に一番やさしい生命保険会社」としたうえで、これらの実現に向けて役職員が大切にすべき価値観を示す「明治安田バリュー」を定めた。「明治安田フィロソフィー」は、当社の経営に関する基本理念であり、この想いを十分に理解し共有してほしい。
- 2017年4月からスタートした3カ年プログラム「MYイノベーション2020」では、お客さま志向とコンプライアンスの徹底を前提に、「成長戦略」「経営基盤戦略」「ブランド戦略」を推進し、成長性・収益性・健全性のバランスを取りつつ、企業価値の安定的かつ着実な向上をめざしている。戦略の推進にあたっては、「お客さま数の拡大」「新たなマーケットへの取組み」「資産運用の高度化」「先端技術等によるイノベーション」「ガバナンスの高度化」「ワーク・エンゲイジメントの向上」「企業理念の浸透」の7つの重点方針を掲げ、「12の改革」に取り組んでいる。

○また、その総仕上げとなる取組みとして、2019年度から「お客さま」「地域社会」「働く仲間」の継続的な健康増進を支援する「みんなの健活プロジェクト」を本格展開する。ご加入後の健康維持・改善の「結果」に対してメリットを提供する「商品」と、病気の予防・早期発見のための「プロセス」を支援するご加入者向けの「サービス」、当社未加入者を含めた地域社会のお客さまを対象とする「アクション」の3つの分野で展開するとともに、健康・医療関連データを活用して、基幹機能の高度化にも取り組んでいく。

3. みなさんに期待すること

【仕事に対する強い使命感を持つ】

○生命保険は、相互扶助の精神のもと社会保障制度を補完する重要な役割を担っている。何百万という数の保険契約の1件1件に、そのご家族の愛情や想いがこもっている。

○お客さまお一人おひとりの「想い」を肌で感じ、生命保険業に携わる者としての「強い使命感」を持って、自身の仕事に向き合ってほしい。

【「明治安田フィロソフィー」を自分ごと化し「自律的に挑戦する人財」をめざす】

○「お客さまとの絆を大切にし、『思いやり』の気持ちを高めあう」、「地域社会との絆を大切にし、『地域愛』にあふれる」、「働く仲間との絆を大切にし、『多様な発想』を支え励ましあえる」企業風土を創造するべく、企業理念「明治安田フィロソフィー」を自分ごと化し、「自律的に挑戦する人財」をめざしてほしい。

【「先見性」を身に付ける】

○生命保険業界や当社を取り巻く環境は大きく変化を続けており、例えば、金融環境やデジタル・テクノロジーの進化など、将来を見通すことは難しい。こうした激動の時代を「勝ち抜く」ためには、常にアンテナを高く張り、社会情勢や経済環境、お客さまの動向を正確に把握し、遠い将来の変化をも見据えながら、周到的準備を行なうことが重要。現状に安住する日々を過ごすのではなく、誰よりも前のめりの姿勢で物事に取り組んでほしい。

明治安田フィロソフィー

